

東葛人車鐵道株式會社設立趣意書

國力ノ發展生産ノ増進ヲ謀ルハ交通機關ノ設備ヲ以テ最大要
務トナスハ今更ニ多辯ヲ要セザル也抑モ北總ノ地質輕脆
精トナシテハ今更ニ多辯ヲ要セザル也抑モ北總ノ地質輕脆

東葛人車鐵道株式會社

趣意書
目論見書
定款

東葛人車鐵道株式會社設立趣意書

國力ノ發展生産ノ増進ヲ謀ルハ交通機關ノ設備ヲ以テ最大要
務トナスハ今更ニ多辯ヲ要セザル也抑モ北總ノ地質輕脆
ナルヲ以テ道路ノ保存持久セズ毎ニ交通ノ便利ヲ阻害ス就中
銚子街道中中山村ヨリ木下ニ至ルノ間道路ノ濘惡ナルコト關
東第一否ナ本邦第一ト稱シテ可ナルベク一朝霖雨ニ際スルト
キハ道路破潰シ泥濘車轂ヲ没シテ殆ンド交通途絶トナル殊ニ
當地ノ生産主要物タル甘藷輸出ノ際ハ降雨多キヲ以テ生産上
多大ノ損障ヲ受ク以是吾等發起トナリ一ノ會社ヲ組織シテ人
車鐵道ヲ敷設シ交通機關ノ一補助トナシ一ハ以テ會社ノ收益
ヲ謀リ一ハ同時ニ地方生産力ノ増進ニ貢獻スル所アラシコト

ヲ期ス其ノ詳細ニ至リテハ目論見書并ニ豫算書ニ就テ閱覽セ
ラレシムコトヲ

明治四十年四月

發起人一同

東葛人車鐵道株式會社起業目論見書

- 第一條 當會社ハ一般貨物運送ノ業ヲ營ムヲ以テ目的トス
- 第二條 當會社ハ東葛人車鐵道株式會社ト稱シ本社ヲ東葛飾郡中山村大字鬼越
字蛇田百七十八番地ニ置ク
- 第三條 當會社ノ敷設線路ハ東葛飾郡中山村大字深町ヲ起點トシテ全郡法典村
大字藤原新田大字上山鎌ヶ谷村大字鎌ヶ谷ヲ經テ全郡全村全大字字本田ヲ終
點トシ(俗稱鎌ヶ谷街道)延長五哩 鐵ヲリ
- 第四條 當會社ハ輕便人車鐵道ヲ布設シ軌道ノ幅員ハ一呎九吋トス
- 第五條 當會社ノ資本金總額ヲ金貳萬五千圓トシ之レヲ壹千貳百五拾株ニ分チ
一株ノ金額ヲ貳拾圓トス

明治四十年一月 日

東葛人車鐵道株式會社

發起人一同

工事豫算書

一 總金額貳万五千圓也

内 譯

一金四拾圓	線路測量費
但貳拾圓技手料拾圓人夫料材料共拾圓製圖料	
一金九拾圓	工事監督費
但三ヶ月成功一ヶ月拾五圓貳人	
一金參百圓	用地費
但新道用敷地買入費一坪ニ付壹圓參百坪	
一金參千八百四拾圓	土工費
但間貳人用四千八百間九千六百人一人ニ付四拾錢	
一金四拾八圓	伏樋費
但土管拾六間 間ニ付參圓	
一金壹萬參千六百拾圓	軌道費

但壹萬〇八百圓

レール六哩分一哩ニ付千八百圓

軌條費

千〇五拾六圓

杉材末口四寸一萬五百六十本間貳本用一本ニ付拾錢

枕木

百五拾圓

トランテーブル(鐵圓蓋)

停車場用屈曲鐵圓蓋十五個一ヶニ付拾圓

九百圓

敷砂利

四尺巾一寸厚五千二百八十間坪ニ付拾五圓運搬共

七百〇四圓

人夫料

レール取付砂利引ナラシ三間ニ付一人千七百六十人一人ニ付四拾錢

一金五百圓

停車場費

但停車場四ヶ所敷地買入費

一金壹千圓

車輛費

但六百五拾圓 車輪五十臺 一臺ニ付拾參圓

參百五拾圓 車臺五十臺 一臺ニ付七圓

四

一金百五拾圓

器械場費

但平家鐵板葺壹棟二間ニ五間拾坪 坪ニ付拾五圓

一金貳千四百四拾五圓

諸建物費

但停車場四ヶ所建物七棟百五十二坪七合五勺 坪平均拾六圓

一金四百圓

運搬費

但參百圓

軌條運搬費

拾五圓

車輪運搬費

八十五圓

枕木其他用材運搬費

一金參拾圓

建築用人車費

但八拾圓軌條用具五拾圓土工用具貳拾五圓机八脚拾圓椅子十ヶ百貳拾圓

金庫一ヶ五拾圓文具諸帳簿

一金參百參拾五圓

器具器械費

一金參百貳拾四圓

境界費

但境界柵延長二百四十四間 間ニ付一圓門六ヶ所ニテ八拾圓

一金五百圓

創業費

一金千貳百八拾八圓

豫備費

以上

營業收支豫算書

六

一金八千參百五拾貳圓也 收入總額

但貨車一臺千斤積一哩百斤ニ付運賃壹錢手數料四錢

內譯

一金七千五百六拾圓 輸出生產貨物

第二停車場一日平均四駄積十二臺

一ヶ年一萬七千二百八十駄一駄ニ付拾錢 壹千七百貳拾八圓

第三同 上 十五臺

一ヶ年二萬千六百駄 一駄ニ付拾壹錢 貳千參百七拾六圓

第四同 上 二十臺

一ヶ年二萬八千八百駄 一駄ニ付拾貳錢 參千四百五拾圓

一金七千九拾貳圓 輸入肥料貨物

停車場三ヶ所へ一日平均四駄積五臺

一ヶ年七千二百駄 一駄ニ付平均拾壹錢 七百九拾貳圓

一金五千八百五拾貳圓也 支出總額

內譯

一金四百圓 線路保存費

一金貳百圓 車輛修繕費

一金參千參百貳拾六圓 運搬費

一金千四百〇四圓 役員給料

一金百八拾圓 諸建物修繕費

一金貳百拾七圓 諸雜費

一金百貳拾五圓 積立金

差引金貳千五百圓也 純益金

年利壹割配當

七

東葛人車鐵道株式會社定款

八

第一章 總 則

- 第一條 本社ハ株式組織ニシテ東葛人車鐵道株式會社ト稱ス
本社ヲ千葉縣東葛飾郡中山村大字鬼越字蛇田百七拾八番地ニ荷扱所ヲ法典村上山字中法典貳百四拾六番地法典村上山字作七百六拾四番地鎌ヶ谷村鎌ヶ谷字本田五番地ニ設置ス
- 第二條 本社ハ地方生産物其他一般貨物ノ運輸業ヲ營ムヲ以テ目的トス
- 第三條 本社ノ資本金額ヲ貳萬五千圓トス
- 第四條 本社ノ存立期限ハ滿參拾ケ年トス
- 第五條 本社ノ社印「及役印」ハ左ノ如シ

東葛人車
鐵道株式
會社之印

- 第六條 本社ノ公告ハ所轄裁判所ノ採用スル新聞紙及重役會ニ於テ決定シタル方法ニ依ルモノトス

第二章 株 式

- 第七條 本社ノ株式ハ壹千貳百五拾株トシ壹株ノ金額ヲ貳拾圓トス
- 第八條 本社ノ株券ハ總テ記名式トシ左ノ二種トス
(一) 一株券 (二) 五株券
- 第九條 本社ノ株主ハ株券及株主名簿ニ氏名ノ登錄ヲ經タルモノニ限ル
- 第十條 株式ヲ賣買讓與セント欲スル時ハ双方連署ノ書面ニ株券及手數料ヲ添へ株券ノ記入證印並ニ株主名簿ノ登錄ヲ請求スヘシ
- 前項ノ書換手數料ハ五株券壹枚ニ付四拾錢壹株券壹枚ニ付貳拾錢トス
- 第十一條 株券ヲ毀損シタル時ハ速ニ新規株券ト引換ヲ請求スヘシ
紛失盜難等ニ罹リタル時ハ證明證ヲ添へ遲滞ナク申出ヘシ本社ハ本人ノ負擔ヲ以テ貳週間新聞紙ニ公告シ登ケ月ヲ經テ尙ホ發見セサル時ニ限り新規株券ヲ交付スヘシ
此場合モ前條第二項ノ手數料ヲ徵收ス
- 第十二條 本社ハ定時總會前參拾日ヨリ少ナカラサル期間公告シテ株券ノ書換ヲ停止スヘシ
- 第十三條 株主ニシテ住所氏名ヲ變更シ又ハ改印シタル時ハ速ニ届出スヘシ

第三章 役 員

- 第十四條 本社ニ左ノ役員ヲ置ク
取締役 五名 監査役 參名
- 第十五條 取締役ハ株主總會ニ於テ記名投票ヲ以テ貳拾株以上ヲ所有スル株主中ヨリ之ヲ選舉ス
其任期ヲ參ケ年トス但滿期ニ至リ再選スルコトヲ得
- 第十六條 取締役ハ互選ヲ以テ社長壹名及ヒ專務取締役壹名ヲ選舉ス

九

第十七條 取締役ハ其在任中其所有ノ株券貳拾株ヲ監査役ニ供託スヘシ但此供託株券ハ退任後ト

雖モ總會ニ於テ在任中ノ事務承認ヲ經タル後ニアラサレハ之ヲ返戻セサルモノトス

第十八條 監査役ハ拾株以上ヲ所有スル株主中ヨリ選舉スルモノトス其任期ハ壹ケ年トス但滿期

ニ至リ再選スルコトヲ得

第十九條 本役員ハ千葉縣東葛飾郡内ニ住居スルモノニ限ル

第二十條 役員中缺員ヲ生シタル時ハ臨時總會ヲ開キ補缺選舉ヲ行フト雖トモ當選者ノ任期ハ前

任者ノ殘任期間トス但缺員アルモ法定ノ員數ヲ欠カス且ツ社長ニ於テ差支ナシト認ムル時ハ次

期ノ改選期迄選舉ヲ延期スルコトヲ得

第二十一條 社長ハ重役會ノ決議ニ從ヒ主トシテ業務ノ施行ニ任シ總會及重役會ノ議長ト爲リ且

外ニ對シテ本社ヲ代表スルモノトス

第二十二條 專務取締役ハ社長ヲ補助シ社長事故アル時ハ其代理者タルモノトス

第二十三條 取締役ハ重役會ヲ組織シ本社諸規則其他重要ナル事項ヲ議定シ本社業務ノ全體ヲ統

理施行スルモノトス

第二十四條 監査役ハ業務施行ノ適否ヲ監視スルコト計算財産目錄貸借對照表事業報告書及配當

金分配案等ヲ檢査シ株主總會ニ報告スルモノトス

第四章 株主總會

第二十五條 株主總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス

第二十六條 定時總會ハ毎年一月及七月之ヲ開ク但シ開會ノ日時場所ハ社長之ヲ定メ少クトモ貳

週日前ニ其通知ヲ爲スヘシ

第二十七條 定時總會ニ於テハ取締役及監査役ヨリ報告スル計算書及財産目錄貸借對照表事業報

告及配當金分配案ニ付キ決議スル外他議ニ涉ルコトヲ得ス

第二十八條 臨時總會ハ臨時事項ヲ議スルモノニシテ取締役若クハ監査役ニ於テ必要ト認ムル時

之ヲ招集ス又總株金ノ十分ノ二以上ニ當ル株主ヨリ會議ヲ要スル事由ヲ示シテ總會ノ招集

ヲ請求セラレタル時ハ取締役ハ少クトモ貳週日以内ニ招集ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 臨時總會ノ議事ハ豫告シタル事項ノ外他議ニ涉ルコトヲ得ス

第三十條 株主總會ノ議決權ハ各壹株ニ付壹個トス但拾壹株以上ヲ有スル者ハ五株ニ付壹個トス

其未滿亦同シ

第三十一條 總會ハ定款ニ別段ノ規定アル場合ノ外出席者議決權ノ過半數ニ依リテ決議ヲ爲ス可

否同數ナル時ハ議長之ヲ決ス

第三十二條 定款變更及會社解散ノ決議ヲ爲サントスル時ハ總株主ノ半數以上ニシテ總株金ノ半

數以上ニ當ル株主出席スルニアラサレハ株主總會ヲ開クコトヲ得ス

第三十三條 株主ニシテ總會ニ出席シ難キ者ハ其議決權ノ行使ヲ他ノ議員權ヲ有スル出席株主ニ

委任スルコトヲ得

第三十四條 總會ノ決議ニ依リ特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其議員權ヲ行フコトヲ得ス

第三十五條 株主總會ノ議事ハ凡テ總會議事録ニ記載シ議長及株主貳名以上之ニ連署シ本會社ニ

保管スルモノトス

第三十六條 本社ノ事業年度ハ一年ヲ分チテ一月ヨリ六月迄ヲ上半期トシ七月ヨリ十二月迄ヲ下

半期トシ毎期毎ニ計算ヲ閉鎖シ計算財産目錄貸借對照表事業報告書配當金分配案等ヲ作ルヘシ

第三十七條 本社ハ第三條ノ資本金額ノ四分ノ一ニ達スル迄各年度純益金ノ二十分ノ一ヲ準備金

トシテ積立ツヘシ

第三十八條 各年度ノ役員賞與額ハ配當金分配案ニ於テ定時總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第三十九條 各年度ノ配當金ハ毎年度末日現在ノ株主ニ分賦スルモノトス